

科目ナンバリング		G-LAS00 80013 LJ44							
授業科目名 <英訳>		キャリア・アントレプレナーシップ論 Career Entrepreneurship			担当者所属 職名・氏名		産官学連携本部 特定教授 木谷 哲夫 非常勤講師 新村 和大		
群	大学院共通科目群			分野(分類)	社会適合		使用言語	日本語	
旧群		単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2024・ 前期集中		曜時限	集中 9/9（月）、9/10（火） 2～5限		配当学年	大学院生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
アントレプレナーシップとは、単に起業することではなく、イノベーションを起こすための必須の資質である。イノベーションを実現するには、新しいアイデアが普及し、人々の生活を変え、経済的な価値を生み出すことが必要である。その担い手がアントレプレナーである。 テクノロジー主導型の会社、ディープテック研究開発型企業の創業者・経営陣・投資家には専門的なバックグラウンドが求められており、米国ではPh.D.が専門的な資質の証明となっている。大学院進学により、自ら会社を興したり、スタートアップへ就職したりといったキャリアの選択肢の幅が広がるのが大学院の魅力の一つである。日本においても大学院以降にて研究経験を積んでいくと道が開かれる、との認識が広く共有されることが重要である。 また、インクルージョンやダイバーシティという言葉で語られるように、一人一人が異なる個性を最大限に伸ばすことができ、人と違うことにチャレンジすることが社会から許容され積極的に評価される、ということが、キャリア形成においても必須の考え方となっている。 本授業では、社会の多様な領域でアントレプレナーとして活躍中のゲスト講師を招聘し、それぞれがどのようにユニークなキャリアを築いたのか、キャリア形成に関する基本的な知識や考え方を理解し、自身のキャリアについて多面的な観点で整理することを目的とする。									
【到達目標】									
・キャリア形成に関する基本的な知識や考え方を理解できている。 ・講義や討議の内容を理解し、自身の将来のあり方に引き付け解釈できている。 ・本授業を通じて、将来のキャリア志向を意識し、整理できている。									
【授業計画と内容】									
本授業は講義形式と討議形式とを組み合わせ実施する。実際のアントレプレナーのキャリア形成を参考とし、自身の将来のあり方を省察してレポートにまとめることで、キャリア志向を整理する。									
9月9日（月） 2限「イントロダクション」 3限「キャリア概論」 エッグフォワード株式会社 代表取締役社長 徳谷智史（仮） フォースタートアップス株式会社 代表取締役社長 志水雄一郎（仮） 4限「アントレプレナーとしてのキャリア」 ウォンテッドリー株式会社 代表取締役社長 仲暁子（仮） 5限「研究開発型スタートアップによる核融合への挑戦」 京都フュージョニアリング株式会社代表取締役、産官学連携本部特任教授 長尾 昂（仮）									
9月10日（火） 2限「スタートアップ創業による新規治療法開発への挑戦」									
----- キャリア・アントレプレナーシップ論(2)へ続く↓↓↓ -----									

キャリア・アントレプレナーシップ論(2)

Link Therapeutics株式会社創業者、医学部附属病院助教 塩川雅広（仮）

3 限「ソーシャルビジネスへの挑戦」

特定非営利活動法人WELgee 代表理事 渡部カンコロンゴ清花（仮）

4 限「スタートアップから大企業への軌跡」

株式会社マネーフォワード 代表取締役社長CEO 辻庸介（仮）

5 限 まとめとフィードバック

新村和大

< 授業の進め方 >

講義（50分）→ 学生間での討議（10分）→ 講師を交えた討議（30分）

本授業は対面で実施する。

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

授業への参加状況、レポート、講義内における討論などをもとに総合的に評価する。

【教科書】

必要に応じて講義内容に沿った資料を配布する。

【参考書等】

（参考書）

必要に応じて適宜指示する。

（関連URL）

<https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/venture/ims/>(産官学連携本部のアントレプレナーシップ人材育成プログラム、セミナー等の情報、起業相談等についてはURL参照)

【授業外学修（予習・復習）等】

必要に応じて適宜指示する。

【その他（オフィスアワー等）】

必要に応じて適宜指示する。